



かつてRVシーンを席巻したクラッグは、当初そのすべてが組み立ての3ピースホイール構成。それゆえにヨックにはゴリゴリの3ピースを履く、というのがカスタムにおいては王道だった。そんな往年の姿へと原点回帰したのが、このガルバトレ。高嶺の花であるからこそ、ジムニーで履く価値がある。

じつに組み合わせ1000通り超の王道



酒井 賢次=文
Text by Kenji Sakai

内田 俊輔=写真
Photographs by Shunsuke Uchida

KLCヘリテージ=取材協力
Special thanks to KLC Heritage



ディッシュを基調にドーム型の独特な窓を運んだ意匠が個性的。ブラック仕様だとこの壁がマシニングとなる。ピアスも高品位



センター周囲にクロスオーバーギアという文字が鑄抜き文字で刻まれるのもヨック感たっぷり。非推奨だが純正キャップも対応

JIMNYSTYLE
RECOMMEND
WHEELS
15

WORK CRAG GALVATRE

ワーク クラッグ・ガルバトレ
tel.048-688-7555(東日本)
06-6746-2859(西日本)
052-777-4512(中日本)
<https://www.work-wheels.co.jp>

Specifications(税込)

SIZE	INSET	HOLE	P.C.D	PRICE
15x5.5J	±0	5	139.7	5万1700円
15x6.0J	-6/7	5	139.7	5万2800円
15x6.5J	-12/±0/13	5	139.7	5万3900円
15x7.0J	-19/-6/7/19	5	139.7	5万5000円
15x7.5J	-25/-12/±0/13/26	5	139.7	5万6100円
15x8.0J	-31/-19/-6/7/19/32	5	139.7	5万7200円
16x5.5J	-19/-6/7/19	5	139.7	5万8300円
16x6.0J	-25/-12/±0/13/26	5	139.7	5万9400円
16x6.5J	-31/-19/-6/7/19/32	5	139.7	6万5000円
16x7.0J	-38/-25/-12/±0/13/26/38	5	139.7	6万1600円
16x7.5J	-44/-31/-19/-6/7/19/32	5	139.7	6万2700円
16x8.0J	-38/-25/-12/±0/13/26	5	139.7	6万3800円

COLOR カットクリア
ブラックシャムファーマシニング (1万1000円UP)



ブラックシャムファーマシニング

カットクリア

サイズが豊富でカスタムも多彩
その組み合わせは1000通り以上
力強いディッシュを基調にドーム型のホールを並べ、全周にピアスボルトを配置したガルバトレのスタイリングは、バスセンジャーにはいっさい寄せないザ・ヨックといったゴリゴリのフ

イニッシュとなるのが魅力。センター周辺にはクラッグのスタイルコンセプトを表わした鑄抜き文字が刻印されるなど、スタイリッシュでありながらしっかりとリアルタンで、確実に土が似合うハード系のデザイン。

ただし魅力は意匠だけにとどまらない。王道の3ピース構造だからサイズが豊富で、例えばこのデモカーに装着する8Jのマイナス20という寸法は、他にはない絶妙なサイズ設定。しっかりと深いリムも確保でき、力感演出にも最適。

もうひとつ見逃せないのが、カラーをはじめとするカスタムパリエーションが豊富なこと。ディッシュは標準色が2色、セミオーダー12色から選択でき、リムパリエーションは6種類。ピアスも3種、センターキャップも2種を用意。組み合わせは1000通り以上。自分だけの仕様が実現可能だ。

オプションフル活用でオンリーワンな1本に



パリエーション豊富に用意されたオプションを活用すれば、世界でひとつ、自分だけのカラーコーディネートをしたガルバトレを実現させることも可。高嶺の花をせっかく手に入れたのなら、個性という付加価値も得よう



標準カラーはクリーンなカットクリアと、精悍さが際立つブラックシャムファーマシニングの2色。いずれもリムはバファルマイトが標準で、さり気なく輝き感も演出できる。3ピースゆえの深いリムも魅力



WORK CRAG T-GRABIC II

ワーク クラッグ・ティグラビック・ツー
tel.048-688-7555(東日本)06-6746-2859(西日本)
052-777-4512(中日本)
https://www.work-wheels.co.jp

酒井 賢次=文 伊勢馬場 建次=写真
Text by Kenji Sakai Photographs by Kenji Isebaba

より強靱にを求めて進化した第二弾

クラッグのTグラビックは、世界一過酷とも称されるダートレース、BAJA1000を走るマシンに装着されていたモデルからフィードバックされた、堅牢で強靱なシグネチャーモデル。そんなレーシングモデルからさらに強靱に、さらに機能的に進化を遂げたのが、TグラビックII。スペック、折り紙付き。



■内輪側はパワフルなディンプルスポークで、外輪側は前作よりもシェイプアップされたショートスポークでなる。内と外とで形状が異なるのはダートレースホイールでは王道の意匠。機能も含めて本格的な装いを獲得できる。■ビードロックリングに見立てたまるで別体風なリムフランジも美麗。ピアスとロゴ刻印が高品位



アッシュドチタンカットリム (AHGRC)



グリミットブラックカットリム (GTKRC)

まるで別体なビードロックと
屈強コンケープの精悍なる競演

内輪側はディンプルを採用した骨太で力強い6本スポーク。リングを挟んだ外輪側は、18本ものショートスポーク。趣きが異なる2種のデザインが同居し、しかもダイナミックなコンケイブを描くフェイスデザインは、いかにもオフロードレーサー風で、圧倒的な立体感も宿す。外輪側のスポーク幅を前作よりも細くし、開口部を大きく取

ることで、レース中に石などが詰まらないよう工夫されているのも本格的で精悍だ。

まるで別体に見える精巧なビードロックリング風のリムフランジは、天面が平らではなく、43Rの曲線仕上げ。これは走行中の飛び石などが直撃しにくくなる効果を狙ったもので、フランジ自体の強度、剛性も高まる。ワークのロゴ刻印、ピアスも採用されるため、ビジュアルアピール度も大だ。

土の薫りにあふれたスパルタンな一本。本格的なオフスタイルで、本領を発揮する。

Specifications(税込)

SIZE	INSET	HOLE	P.C.D.	PRICE
16x5.5J	±0/20	5	139.7	4万2900円
COLOR	アッシュドチタンカットリム (AHGRC)、グリミットブラックカットリム (GTKRC/4400円up)			



レースフィールドからのフィードバックで生まれたモデルだから、ゴリゴリのオフロードスタイルとの相性がバツグン。とは言え変化があって立体的、華やかさも備わるから、あえて街オフで狙うのもアリ



オンでもオフでも映えるジムニー専用

JIMNYSTYLE
RECOMMEND
WHEELS
16

マスターS1のスタイリングを
ジムニーに合わせてリデザイン

クラッグのS1Jは、マスターS1のデザインを継承しているのが特徴。ただしすべてをそのまま受け継いだのではなく、P.C.D.の変更やデザインの最適化など、ジムニーのためだけに細部がリビルドされている。

力強い5本スポークが深いリムへと大きなアールで落ち込んでいく造形は、いかにもマスター風で抜群の躍動感。余分な装

飾を排除したクリーンなフォルムだから、ホワイトレターやブロックタイヤとの相性も上々。1ピース構造だがリムはしっかりと深く、ジムニーの足元には有効だ。

ジムニーに履かせればオフロードシーンへ違和感なく溶け込んでくれるのはもちろん、シンプルで洗練度の高い意匠だからアーバンシーンにも映える。マットブラックならオフ系、ワークブラックメタルコートならアーバン系が狙い目。設定は1サイズ、当然ジムニーにジャスト。



ワークブラックメタルコート



マットブラック



■ワークのレジェンドモデル、マスターS1の意匠をジムニーに合わせて最適化したオフ系スポーツモデル。骨太で力強い5本スポークが、深いリムへと沈み込んでいく形状がいかにもレーサーだ。■設定は1サイズで標準カラーは2色。1ピース構造、ディスクステッカーも付属

WORK CRAG S1J

ワーク クラッグ・S1J
tel.048-688-7555(東日本)06-6746-2859(西日本)
052-777-4512(中日本)
https://www.work-wheels.co.jp

ワークを象徴する人気ブランド、マスター。その代表とも言えるマスターS1は、シンプルかつレーシーなデザインで長く広く愛され続けるレジェンドモデルである。そんなレーシングなS1のDNAを受け継いだジムニー専用設計モデルが、クラッグにはある。それがこのS1J。魅力は何といてもその躍動感。

酒井 賢次=文 伊勢馬場 建次=写真
Text by Kenji Sakai Photographs by Kenji Isebaba

Specifications(税込)				
SIZE	INSET	HOLE	P.C.D.	PRICE
16x5.5J	20	5	139.7	3万8500円
COLOR	マットブラック、ワークブラックメタルコート (9900円up)			



洗練されたレーシングデザインだが、スポークが太く力強いので、オフロードタイヤに合わせても絶妙にハマってくれる。オフにもオンにも似合ってくるが、潔くシンプルだから、悪路走行にも適任